

ポートピア'81

1981(昭和 56)年、ポートアイランドの完成を記念し、広く国内外の人々に紹介するため、「神戸ポートアイランド博覧会」が開催された。参加は 31 カ国等、展示館は 32 館となり、国際条約によらない博覧会としては前例のない規模と内容であった。それまでの博覧会は、既存の施設を利用したり、また、新たに造成した場合は跡地を公園等として利用するのが一般的であった。しかし、神戸ポートアイランド博覧会は、ポートアイランドという新しい海上都市づくりの過程に組み込まれ、ポートアイランドのまちづくりの促進剤となるように位置づけられていた。そのため、既存の施設を会場内に取り込んで博覧会施設として利用し、新たに設置した展示館などの施設も、一部恒久施設として転用するなど、将来のまちづくりに対応できるように計画された。

このことは、この博覧会が、国際博条約による各種の制約を受けない「地方博」であるために実現され、地方博の大きなメリットとして、その後、多く開催された地方博の先駆けとなったのである。



約 1,610 万人の観客を動員したポートピア'81 会場